



2022年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月27日

上場会社名 株式会社 SHOEI
コード番号 7839 URL <https://www.shoei.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 健一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 山口 裕士

TEL 03-5688-5160

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績(2021年10月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	21,133	20.6	6,400	31.7	6,456	31.2	4,369	27.4
2021年9月期第3四半期	17,519	25.5	4,860	37.4	4,920	38.9	3,428	39.1

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 4,573百万円 (22.3%) 2021年9月期第3四半期 3,739百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	162.90	
2021年9月期第3四半期	127.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期第3四半期	26,307	20,948	79.6	780.83
2021年9月期	23,778	18,528	77.9	690.91

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 20,930百万円 2021年9月期 18,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期		0.00		82.00	82.00
2022年9月期		0.00			
2022年9月期(予想)				105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,930	21.8	8,060	33.8	8,060	32.3	5,650	28.2	210.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 首維(上海)摩托車用品有限 除外 社 (社名)
公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期3Q	26,856,858 株	2021年9月期	26,856,858 株
期末自己株式数	2022年9月期3Q	27,948 株	2021年9月期	39,019 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期3Q	26,823,689 株	2021年9月期3Q	26,851,062 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績に関する分析」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

(参考)

1. 2022年9月期第3四半期の個別業績(累計)(2021年10月1日~2022年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	18,827	18.6	5,718	36.5	6,530	24.1	4,683	18.5
2021年9月期第3四半期	15,870	25.9	4,189	50.1	5,261	9.8	3,953	1.0

2. 2022年9月期通期の個別業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	25,240	19.4	7,130	37.5	7,950	26.8	5,830	21.3	217.33

(注) 個別業績予想値の当四半期における修正有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 補足情報	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間（2021年10月1日から2022年6月30日まで）における世界経済は、ワクチン接種の進展による行動制限の緩和や各種経済対策の効果がみられる一方、半導体等の供給制約やインフレ圧力にくわえ、地政学リスクの高まりなど様々な下振れリスクが残る状況が続いております。

高級二輪乗車用ヘルメット市場、特に先進国市場においては、二輪乗用車が三密を避ける移動手段・レジャーとして人気が高まっているため、コロナ禍でもむしろ需要が維持・拡大しており、同市場の需要は堅調に推移しております。尚、現在ポストコロナの需要動向に付き、鋭意情報を集めているところですが、中国市場を始めとするアジア市場は、今のところは、需要の低下は認められておりません。

このような市場状況のなか、当社が推し進めているお客様のニーズに沿った新モデルの開発・販売及びお客様の安全をサポートするサービスが引き続き成功裏に推移しました。

当第3四半期連結累計期間における日本及び海外を合わせた販売数量は、好調な先進国市場が牽引し前年同期比16.6%増となりました。欧州市場の販売数量は引き続き堅調な小売り状況を反映して前年同期比26.2%増となりました。北米市場の販売数量は、二輪関連市場の好調が継続するなか在庫積み増しを含めた積極的な受注を受けていることから前年同期比93.4%増となりました。日本市場の販売数量も、前年度からの好調を持続しており前年同期比22.4%増となりました。アジア市場の販売数量は、生産能力が限られるなかで中国現地代理店の発注が他地域の代理店に出遅れたことから、前年同期比36.2%の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は21,133,218千円と前年同期比3,613,662千円（20.6%）の増収、前年度に順次投入した新モデル（Z8シリーズ）等の値上げ効果、円安や販売費及び一般管理費が想定より費消されなかったことから、営業利益は6,400,418千円と前年同期比1,539,825千円（31.7%）の増益となりました。経常利益は6,456,050千円と前年同期比1,535,797千円（31.2%）の増益、税金等調整前四半期純利益は6,456,102千円と前年同期比1,534,169千円（31.2%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,369,489千円と前年同期比940,868千円（27.4%）の増益となりました。

（販売地域別売上高）

①日本

売上高は4,493,453千円と、前年同期比748,068千円（20.0%）の増収となりました。

②欧州

売上高は9,042,713千円と、前年同期比2,158,815千円（31.4%）の増収となりました。

③北米

売上高は3,914,659千円と、前年同期比1,963,363千円（100.6%）の増収となりました。

④アジア

売上高は3,143,280千円と、前年同期比1,386,033千円（▲30.6%）の減収となりました。

④その他の地域（オセアニア、南米）

売上高は539,112千円と、前年同期比129,449千円（31.6%）の増収となりました。

当第3四半期連結累計期間の為替相場は、当社売上換算レート：1ドル＝119.81円、前年同期比13.24円の円安、1ユーロ＝133.27円、前年同期比5.49円の円安、海外子会社換算レート（2022年3月31日）：1ドル＝122.39円、前年同期比11.68の円安、1ユーロ＝136.70円、前年同期比6.90円の円安となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、本日公表しました「2022年9月期通期業績予想(連結・個別)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,426,062	11,497,926
受取手形及び売掛金	2,393,715	3,129,526
商品及び製品	1,646,080	2,468,085
仕掛品	999,435	1,363,929
原材料及び貯蔵品	1,038,084	959,231
その他	1,353,487	1,315,876
貸倒引当金	△2,623	△2,320
流動資産合計	18,854,243	20,732,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,725,216	4,101,584
減価償却累計額	△2,245,184	△2,302,219
建物及び構築物(純額)	1,480,032	1,799,364
機械装置及び運搬具	3,948,169	4,232,196
減価償却累計額	△2,726,108	△2,969,304
機械装置及び運搬具(純額)	1,222,060	1,262,892
工具、器具及び備品	4,883,954	5,174,268
減価償却累計額	△4,608,737	△4,766,144
工具、器具及び備品(純額)	275,217	408,123
土地	215,959	221,196
リース資産	83,121	83,121
減価償却累計額	△20,780	△33,248
リース資産(純額)	62,341	49,872
建設仮勘定	279,025	402,937
使用権資産	339,993	351,380
有形固定資産合計	3,874,629	4,495,767
無形固定資産	116,126	126,478
投資その他の資産		
繰延税金資産	520,300	501,815
その他	412,896	451,086
投資その他の資産合計	933,197	952,902
固定資産合計	4,923,953	5,575,148
資産合計	23,778,196	26,307,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	728,056	804,424
リース債務	66,379	77,223
未払金	450,039	372,339
未払法人税等	1,098,818	1,117,460
賞与引当金	271,500	117,600
その他	1,291,700	1,682,190
流動負債合計	3,906,495	4,171,238
固定負債		
リース債務	339,022	332,915
退職給付に係る負債	833,740	763,705
資産除去債務	41,455	41,511
その他	128,674	49,208
固定負債合計	1,342,892	1,187,340
負債合計	5,249,387	5,358,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,421,929	1,421,929
資本剰余金	418,773	418,773
利益剰余金	17,290,836	19,453,822
自己株式	△187,202	△133,805
株主資本合計	18,944,337	21,160,720
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	-	△21,009
為替換算調整勘定	△210,606	△12,733
退職給付に係る調整累計額	△222,924	△196,154
その他の包括利益累計額合計	△433,531	△229,897
非支配株主持分	18,003	18,003
純資産合計	18,528,809	20,948,826
負債純資産合計	23,778,196	26,307,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上高	17,519,555	21,133,218
売上原価	9,946,443	11,433,436
売上総利益	7,573,112	9,699,782
販売費及び一般管理費	2,712,519	3,299,363
営業利益	4,860,592	6,400,418
営業外収益		
受取利息	791	119
為替差益	44,395	44,147
受取保険金	1,889	20
補助金収入	10,829	8,973
その他	9,274	11,610
営業外収益合計	67,180	64,870
営業外費用		
支払利息	4,376	5,668
障害者雇用納付金	2,350	2,750
その他	793	819
営業外費用合計	7,519	9,238
経常利益	4,920,253	6,456,050
特別利益		
固定資産売却益	1,680	51
特別利益合計	1,680	51
税金等調整前四半期純利益	4,921,933	6,456,102
法人税、住民税及び事業税	1,486,256	2,068,376
法人税等調整額	7,055	18,235
法人税等合計	1,493,311	2,086,612
四半期純利益	3,428,621	4,369,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,428,621	4,369,489

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,428,621	4,369,489
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△14,082	△21,009
為替換算調整勘定	303,855	197,872
退職給付に係る調整額	21,451	26,770
その他の包括利益合計	311,224	203,633
四半期包括利益	3,739,846	4,573,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,739,846	4,573,123
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に重要な変更はありません。

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容は以下になります。

現時点において、新型コロナウイルスの収束時期などの合理的な予測は困難ですが、当社及び連結子会社は入手し得る情報を踏まえ、以下の仮定を利用した見積りに基づき会計処理しております。

- ・新型コロナウイルスの一時的な感染再拡大リスクはあるものの、ワクチン接種の進展による行動制限の解除に伴い、経済活動や営業活動は当連結会計年度中に2019年9月期レベルまで回復する。
- ・世界経済は、引き続き回復基調を辿るとみられるものの、新たな変異株の拡散リスクや半導体等の供給面の制約など様々な下振れリスクが残る状況は不変。
- ・高級二輪乗車用ヘルメット市場においては、欧州市場は、経済活動が徐々に戻りつつあるなか堅調な販売が継続。その他地域も堅調な販売が継続、或いは、回復基調を辿る。

なお、新型コロナウイルスの収束時期、各国・地域の諸対策を踏まえた経済情勢や市場動向について不透明さが継続する場合には、見積りの不確実性は増大し、事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を品目別に示すと、次の通りであります。

期別	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	
	金額(千円)	前期比(%)
ヘルメット関連事業		
二輪乗車用ヘルメット	18,460,070	117.6
官需用ヘルメット	33,383	56.1
その他	2,077,804	129.1
合計	20,571,257	118.4

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次の通りであります。

期別	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)			
	受注金額 (千円)	前期比 (%)	期末受注残高 (千円)	前期比 (%)
ヘルメット関連事業				
二輪乗車用ヘルメット	15,800,206	61.3	18,232,387	102.8
官需用ヘルメット	23,779	38.3	6,228	43.5
その他	2,022,249	88.8	1,363,536	154.2
合計	17,846,236	63.5	19,602,152	105.2

- (注) 1 金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当第1四半期後半より、受注から出荷までのリードタイムを短縮させる目的で、月次の受注数量をコントロールしております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次の通りであります。

期別	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	
	金額 (千円)	前期比 (%)
ヘルメット関連事業		
二輪乗車用ヘルメット	19,226,587	122.8
官需用ヘルメット	24,876	42.1
その他	1,881,753	104.3
合計	21,133,218	120.6

(注) 1 金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
HELMET HOUSE INC.	764,469	5.5	3,602,265	17.0
岡田商事(株)	2,547,445	18.2	3,203,128	15.2

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。